

市長コラム

五感行政

1 年を回顧する月になりました。皆さまにとって、どんな 1 年だったでしょうか？この 1 年、多くの都市を訪問する機会を頂きました。

定例の会議（市長会など）以外に特定テーマによる会議が随分増えました。順不同ですが、水害サミット、自治体スマホ連絡協議会、資産運営・公民連携首長会議（東京）、東日本連携・創生フォーラム（さいたま市）、ICT 教育全国首長サミット（つくば市）、自治体間連携フォーラム（世田谷区）などでした。姉妹都市締結 10 周年記念行事で、鳥取市訪問もありました。

いずれも、テーマに深い関心を持ち、知恵の交換を必要と考える都市の首長さんが主唱する会議です。まち・ひと・しごと創生基本方針が、国から示され、この種の会議はますます増えることと感じております。

国・県・都市という縦関係行政から、都市・都市の横関係行政でさまざまな課題解決に臨もうとする気迫が、各首長さんから伝わってきます。底意はもちろん、我田引水ならぬ我市引人(金)です。パワーポイントを使っての各市町村の紹介を通じて学習しました。

でも、肝心要のその施策を進めている市役所そのもの、あるいは市の姿全体に接する機会は、日帰りという事もあり、全くありませんでした。会場は市役所外のホテルなど会議施設（設営の関係上、止むなしですが）ですし、また市役所総出でホストしておられますので、市役所訪問もメイワクなことになってしまいますから。せっかくの街見学も駅と会場間の車窓風景。幸い、鳥取市訪問では市のご好意により市内要所を見学させていただきました。

サービスも商品も結局は実際に使った実感でナンボのものですから、町の魅力も訪れるひとの五感（視、聴、味、嗅、触）で、いいね！を感じていただくのがキモです。

市の政策も、文字面からだけでなく、市民の皆さまや来訪者の五感指向で展開が必要！が今年のメの言葉。五感でよいお年をお迎えください。

鳥取市訪問の様子



